

生態園 NEWS Letter

No169

2018/5

NPO 法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局

Tel/Fax : 045 - 945 - 0816

E-mail seitaen@ybb.ne.jp

URL <http://www.geocities.jp/seitaenjimukyoku/index.htm>



草だんごづくり(4/12)



木の白い花 ウツギ



ヤマボウシ



エゴノキ



ナツミカン

(5/10)



①ウスチャコガネ(4/11)



②ツバメシジミ(4/15)



③クロボシツツハムシ(4/16)



④ヤマサナエ(4/20)

〇〇〇水辺のいきもの〇〇〇
ゴイサギ(サギ科)

コサギと同じぐらいの大きさだが、黄色い短い足を持ち、頭と背中中は黒く、頭の後ろには白い飾り羽がある。水際でじっと待ち伏せして魚を捕まえる。幼鳥は茶色地に白の点々。



①春にのみ出現し、草地で生息します。

②明るい原っぱで普通に見られる色々な花で吸蜜します。

③赤色で上翅(じょうし)に黒い紋を持つ寸胴型のきれいなハムシです。

④平地から低山地に生息。田んぼの用水路などでも結構見られます。

昆虫: 山村靖男

今月の花

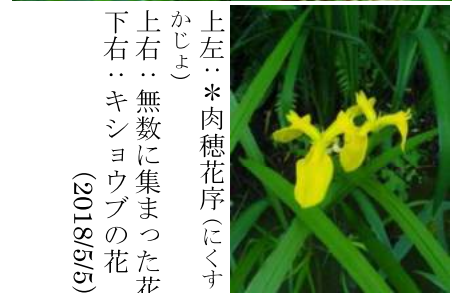
ショウブ (菖蒲) ショウブ科ショウブ属

こどもの日にお風呂に入れる植物としておなじみのショウブ。独特な香りと刀のような形の葉が特徴的で、古くから魔よけとしても使われているそうです。

生態園では田んぼ横の水路やアシ原付近、トンボ池などで通年、見ることができます。今の時期にショウブの葉をよく見ると、白緑色の棒のようなものが出ているのを発見できるかもしれません。これがショウブの花です。正確には小さな花(両性花)が無数に集まったもので、肉穂花序*と呼ばれています。ミズバショウの花にある棒のような部分もこれにあたります。

生態園にはショウブに葉がよく似たキショウブという植物があります。こちらは明治時代に観賞用に持ち込まれたヨーロッパ原産の外来種で、アヤマに似た黄色い花を咲かせます。また、キショウブにはショウブのような良い香りはありません。お風呂では一度は見たことがあるショウブですが、野生の状態で生えているものも見てみてはいかがでしょうか？

相澤 直



上左…肉穂花序(にくすいかじよ)
上右…無数に集まった花
下右…キショウブの花
(2018/5/5)

5月これからみられるおもな花

イボタノキ、ウツギ、エゴノキ、ガマズミ、ショウブ、スイカズラ、ノイバラ、フタリシズカ、ヤマボウシ